



平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年7月6日

上場会社名 株式会社ジーフット 上場取引所 東 名
 コード番号 2686 URL <http://www.g-foot.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江泰文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画担当 (氏名) 秀島高広 TEL 03-5566-8215
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第1四半期の業績（平成28年3月1日～平成28年5月31日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	29,337	0.5	2,360	△0.5	2,359	△0.5	1,362	3.0
28年2月期第1四半期	29,199	△0.8	2,372	22.7	2,371	22.9	1,323	17.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	32.05	32.04
28年2月期第1四半期	31.76	—

(注) 当社は、平成27年8月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第1四半期	62,155	25,000	40.2	587.46
28年2月期	58,246	24,056	41.3	565.76

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 24,979百万円 28年2月期 24,056百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	9.00	—	10.00	19.00
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年2月期の業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,700	3.6	3,250	1.7	3,200	0.2	1,750	4.3	41.16
通期	107,500	3.4	6,000	8.8	5,950	8.7	3,100	10.1	72.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期1Q	42,533,000株	28年2月期	42,533,000株
② 期末自己株式数	29年2月期1Q	12,284株	28年2月期	12,284株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期1Q	42,520,716株	28年2月期1Q	41,657,116株

(注) 当社は、平成27年8月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成28年3月1日～平成28年5月31日)における、靴小売業界の経営環境は、個人消費の節約ムードが依然として続く中、スニーカーブームによるスポーツシューズの好調は続いているものの、他方で低価格品への需要の高まりや、円高により訪日観光客のインバウンド消費に減速感が見られるなど、不透明な状況が続いています。

このような環境に対応すべく当社は、「デジタルシフト」「都市シフト」「シニアシフト」「アジアシフト」「地域密着」を事業展開の基本とし、商品の改革・売場の改革・人の改革・コストの改革を進めてまいりました。

商品の改革では、ヘルス&ウェルネスをテーマとし、スポーツシューズの成長トレンドに対応し「ライト&リラックス」をコンセプトに軽量・履き心地にこだわったPB開発を行い、ディッキーズのライトウェイトらくらくスニーカーやアッパーにストレッチ素材を使用した軽量デッキシューズなど好評を博しました。その結果、レディーススポーツは前年同期比15.5%増と大きく伸ばいたしました。

また、メーカー(ナショナルブランド)との共同販促やエクスクルーシブ(独占販売)商品の開発を推進するとともにPB開発の継続的な強化を図り、PB販売構成比は32.1%となりました。

売場の改革では、基幹業態の進化を進めました。アスビー業態では、総合靴店の強みを更に強化し、より専門性の高い売場集積を強化した大型アスビー業態を確立しました。グリーンボックス業態では、子供靴部門においてチャイルド・ベビーの品揃えを見直し幅広い客層に対応する「KUTSURA」ショップの開発を実施し11店舗活性化を行い順調に推移しています。その結果、アスビーキッズ業態とともに子供靴部門は前年同期比8.4%増と圧倒的優位性の高いフォーマットへ改革を進めております。

また、新業態としてNBスポーツメーカーとの協業でブランドショップを開発出店し、アスビーのインショップ形式も含め更に出店の拡大を図ります。

オムニチャネル化の推進では、Eコマースサイトを活用した店舗の客注取扱高は、約7倍となり着実に進化を図っています。

人の改革では、ダイバーシティ推進プロジェクトを新設し、従業員が有する多様なスキルや能力、価値観を活かして新しい価値を創造する「ダイバーシティ経営」を重要な柱と位置づけ人材活用の多様化を図っております。また、女性の活躍という点では、女性管理職比率33.8%(305名)にまで高め、管理職のダイバーシティに関する意識を高める教育プログラムの充実等を進めています。

コストの改革では、LED化の推進や消耗備品の店舗発注数量の見直しなどを行い水道光熱費、事務消耗品費を前年の8割程度にまで削減を図りました。また、求人広告のWEB化と採用のアウトソーシング化を進めることで採用費などの本部コストの見直しを行い、適正な経営資源の配分を進めています。

財務体質につきましては、自己資本比率は40.2%となり、財務基盤の強化に努めております。

以上のような取り組みを推進した結果、当第1四半期累計期間の売上高は293億37百万円(前年同期比0.5%増)、売上総利益率47.4%(同0.4ポイント増)、営業利益23億60百万円(同0.5%減)、経常利益23億59百万円(同0.5%減)、四半期純利益13億62百万円(同3.0%増)となりました。出退店につきましては、出店15店舗、不採算店舗の見直しにより退店6店舗の結果となり、当第1四半期末店舗数は878店舗となりました。

当社はセグメント情報を記載しておりませんが、商品別売上状況は次のとおりであります。

商品別売上状況

商品別	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)
婦人靴	7,291	24.9	89.4
紳士靴	4,439	15.1	96.8
スポーツ靴	10,047	34.2	108.6
運動靴・子供靴	5,943	20.3	108.4
その他	1,615	5.5	93.8
合計	29,337	100.0	100.5

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は621億55百万円となりました。

これは主に新規出店による売上預け金及び商品の増加により、前事業年度末と比較して39億9百万円の増加となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は371億55百万円となりました。

これは主に支払手形及び買掛金並びに短期借入金の増加により、前事業年度末と比較して29億65百万円の増加となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は250億円となりました。

これは主に利益剰余金の増加により、前事業年度末と比較して9億43百万円の増加となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では平成28年4月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,117	2,864
売掛金	247	385
売上預け金	2,497	4,136
商品	36,661	37,773
その他	1,852	1,960
流動資産合計	43,378	47,121
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,611	3,835
土地	898	898
その他(純額)	461	445
有形固定資産合計	4,971	5,179
無形固定資産	385	377
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,286	6,353
その他	3,228	3,127
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	9,511	9,476
固定資産合計	14,868	15,033
資産合計	58,246	62,155
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,534	23,898
短期借入金	4,800	6,000
1年内返済予定の長期借入金	835	712
未払法人税等	1,044	976
ポイント引当金	163	137
賞与引当金	233	557
役員業績報酬引当金	4	—
その他	3,020	3,437
流動負債合計	32,636	35,719
固定負債		
長期借入金	641	507
退職給付引当金	31	32
資産除去債務	826	849
その他	53	46
固定負債合計	1,553	1,435
負債合計	34,189	37,155

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成28年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,749	3,749
資本剰余金	3,579	3,579
利益剰余金	15,744	16,681
自己株式	△4	△4
株主資本合計	23,068	24,006
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	987	972
評価・換算差額等合計	987	972
新株予約権	—	21
純資産合計	24,056	25,000
負債純資産合計	58,246	62,155

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	29,199	29,337
売上原価	15,486	15,429
売上総利益	13,713	13,907
販売費及び一般管理費	11,340	11,546
営業利益	2,372	2,360
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	5
受取保険金	8	2
その他	0	0
営業外収益合計	14	8
営業外費用		
支払利息	13	9
その他	1	0
営業外費用合計	15	9
経常利益	2,371	2,359
特別利益		
投資有価証券売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	28	3
減損損失	1	16
災害による損失	—	109
関係会社出資金評価損	—	59
その他	2	—
特別損失合計	32	188
税引前四半期純利益	2,340	2,171
法人税等	1,017	808
四半期純利益	1,323	1,362

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。